



酒井はやみ 議員
(日本共産党
幕別町議員団)



約2年におよぶコロナ禍で
行事、部活動などが制限さ
れ、先が見えづらい不安定な状況
の中で高校生自身、保護者や教職
員など関係者が、高校生活の充実
や進路選択を支えるために懸命な
努力をされてきた。

町としても、修学支援資金交付
事業や「魅力ある高校づくり支援
事業」で多彩な支援を行ってきた。
とりわけスタートして3年目を
迎えた幕別清陵高校は、魅力ある
学校づくりを軌道に乗せていくこ
とが求められている。

このコロナ禍にあっても高校生
たちが望む高校生活、進路選択が
保障されるよう、町としてできる
支援について以下伺う。

- (1) 魅力ある高校づくり
- ① 生徒・保護者の学校への評価、
要望。
- ② 町内中学生の清陵高校への進学
割合。管内他市町村への進学割合。
- ③ 今後の課題、支援内容。
- (2) 通学支援と安全確保
- ① 通学路の安全点検を。

問 高校生の生活と学びを支える支援を

答 今後も、できる限りの支援を実施してい
きたい

・幕別清陵高校の通学路について、
暗くて危険との声があるが対策は。
・みずほ通りや、旧国道など通学
路の街灯の整備を。

・沿道の雑草など通行障害の点検を。
② 通学費用の支援を。

教育長

(1) ①幕別清陵高校の令和3年度前
期学校評価アンケート調査では8
割の生徒が「入学して良かった」
「卒業後の進路について知ること
ができた。また具体的に考えてい
る」と答え、9割の保護者が「入
学させて良かった」「学校は生徒
にさまざまな進路情報を提供し、
個々にあった進路選択ができるよ
うな働きかけを行っていると思
う」との回答と伺っている。

また「登校時に坂を上るのが大
変なので札内駅から学校までの交
通手段を確保してほしい」といつ
た要望があったと聞いている。

中札内高等養護学校幕別分校の
令和2年度学校評価アンケートで
は8割以上の生徒が「学校は楽し

い」「学校で学んだことは社会に
出てから生かせそう」「授業や生
徒、先生との関わりを通して成長
できたと感じる」との回答である。

また、保護者へのアンケートで
は9項目の各5点満点の項目中、
いずれも3点台後半以上、2項目
が4点台と高い評価であり、その
中では特に要望はなかった。

② 町内中学校卒業生のうち幕別清
陵高校への進学は平成31年度が
14・3%、令和2年度が13・9%、
3年度が20・4%。管内他市町村
への進学割合については、令和3
年度で帯広市内が58・5%、市外
が13・7%であった。幕別清陵高
校の入学者に対する町内の割合は
令和3年度で45・6%。

③ 幕別清陵高校については出願数
は多いが、併願している私立高校
を選択し、定員割れが続いている。
中札内高等養護学校幕別分校
は、卒業後の就職先の確保が課題
である。

町長

(2) ① 照明が必要な箇所は、防犯灯
を設置しており、今後も状況を確
認しながら必要に応じ増設する
とともに、道路パトロールを行い、
適時の草刈りや剪定を実施し、安
全な道路環境の確保に努める。

教育長

② 現時点では通学費用の支援より
も、生徒の皆さんが意欲的に学習
ができ、個に応じた進路選択が叶
うよう、教育活動に注力した支援
を最優先と考えている。

再質問

① 幕別清陵高校へ給食を
提供する考えは。

② 高校生修学支援資金の申請に対
して認定者が2割台と低い。必要
な世帯が支援を受けられるよう制
度を拡充する考えは。

教育長

① 小中学生の数は減少していく傾
向にあり、幕別清陵高校の学校給
食提供を開校前に検討したが、給
食センターの容量が足りなく断念
した。今後の児童生徒数の推移に
よっては、できる可能性があり状
況に応じながら検討したい。
② 町では生保対象の収入基準の
1・3倍未満ということで、一定
程度の所得の低い世帯については
賄われていると感じている。